

## 認知グループ 4 平成 28 年度 第 5 回 議事録

【年間テーマ 抑制のリスク管理 抑制の評価】

平成 28 年 12 月 12 日提出

日付	平成 28 年 12 月 10 日 (土)			
場所	博多セントラージャ		記録者名：田中 英利	
出席者 (敬称略)	東福岡病院 藤井 佐和子	有吉病院 能度 かなこ	北九州湯川病院 山田 穂積	福岡みらい病院 鈴木 裕二
	北九州湯川病院 藤田 令子	金隈病院 田中 英利		
テーマ	抑制のリスク管理 抑制の評価			
結論	抑制を行なうと、2 次的弊害（身体的・精神的ダメージ）の恐れがある為、客観的視点に基づいたツールを用いて評価することが重要であり、個別性を踏まえたカンファレンスを行なうことで、2 次的弊害の予測もできて対応できる。「一患者」として見る前に「一人の人間」として見ることが大切であり、「人としての尊厳」を念頭において抑制に対し取り組むことが大事である。このことを他の職員にどう伝えていくかが今後の課題である。			
決定事項	発表当日は、4 5 分で横造紙を完成させ、1 グループあたり 5 分で発表する。			
備考	8 月分を鈴木さん、10 月分を山田さんが発表する。			
次回討論項目	横造紙に簡潔にポイントを書き、グループ全員で前に出て発表する。			

抑制廃止とケアの質を高める会

事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)